

# 子どもの発達相談は 発達支援センターへ

発達支援センターが開所して1年が経過しました。平成21年度の相談件数は約1400件で、市民のみなさんが気軽に子どもの発達について相談できる場所になつてきたようです。相談内容は、さまざまですが、特に多い相談の中からどのようにセンターがアドバイスをしているかを紹介します。

問い合わせ先 発達支援センター ☎(36)0224

## 相談のトップは「言葉の問題」

「言葉が遅い」「はつきりしゃべらないので聞き取りにくい」「コミュニケーションシオンが取りにくい」などの相談が多くありました。

### 言葉をどう教えるのか

子どもが言葉をたくさん話すと会話などで子どものことが分かり、成長発達面でも大いに安心します。しかし、逆の場合は、子どものことが分かりにくくとても不安になります。

わたしたちセンタースタッフは、言葉が多い少ないにかかわらず、次のようなアドバイスをしています。

### ●生活のリズム

十分な睡眠は、脳の発達にとっても大事なことです。睡眠の間に、脳は情報整理をしています。睡眠と安定した生活

### ●食べること

成長に合わせた食事を経験していくことが大切です。口腔(こうくう)内の動きの基礎となり、「話す」ための口の動きに発展します。いろいろな食べ物を食べる経験ができるということです。

### ●好きなことを大切に

子どもの好きな遊びや好きなことを通じて、一緒に遊んだり楽しい時間を共有することは、最大の心の栄養になります。

### ●子どもの気持ちに共感するよな声かけを

「これ開けようね」「おいしね」「おもしろいね」など、生活の中



「楽しい」「うれしい」「悲しい」「くやしい」「イヤだ」など、喜怒哀楽の気持ちを表現することが大切です。その気持ちを伝えるために「言葉」になっていきます。伝えたいこと

## かんしゃくやパニックの相談

かんしゃくやパニックの相談もとても多くあります。かんしゃくやパニックは、側にいる大人(親や先生など)にとつて非常に困ってしまいがちです。「早く何とかしないと」と焦り、周囲の視線も気になって、育児を投げ出したくなることもあると思います。

### かんしゃくやパニックの時はどうしたら…

かんしゃくやパニックは、「どうしようもない嫌なこと」がある時に起こります。その気持ちがうまく表現できなくて結果として選んだ表現方法なのです。

「良かった」経験ができることとコミュニケーションが増えていきます。自然に経験し、身に付いていく子どももいれば、身に付くことを手伝いながら、時期を待つ子どももいます。育てる側からすると、「待つ」ことはとても不安になります。発達支援センターでは、家族にアドバイスするとともに、育児の伴走者として不安が少しでも軽くなるよう支えたいと思っています。

## 発達障がいとは

主に、①自閉症スペクトラム(自閉症、広汎性発達障がい、高機能自閉症などの総称)②注意欠陥多動性症候群③学習障がいのことを言います。原因は、脳の中枢神経の働きに課題があるといわれています。

### ①自閉症スペクトラム

言葉の獲得の遅れ、社会性やコミュニケーションの困難さ、興味関心の狭さやこだわり、想像力の乏しさなどがあります。

### ②注意欠陥多動性症候群 (ADHD)

生活に困るほどの不注意、衝動性、多動性が見られることをいいます。

### ③学習障がい (LD)

知的な問題はないものの、学習に必要な能力「読む、聞く、書く、計算する、推論する」のうち2つ以上に課題が見られます。人によっては、運動面の課題や人との関係に課題を持つこともよく見られます。

## 発達支援センター講演会の予定

- 日時 10月2日(土) 13:30~15:30
- 会場 日本赤十字九州国際看護大学・オーヴァルホール
- 内容 発達障がいとは~家庭や教育・保育現場でできる支援~
- 講師 竹田契一さん



日本LD学会常任理事。特別支援教育士資格認定協会会長。大阪教育大学客員教授。発達障がい分野では国内第一人者。発達障がいの研究やさまざまな人との出会いをユーモラスでじっくり考えさせるような講話が好評で、海外の取り組みや国内の最新情報にも精通

\*詳しくは広報紙8月15号でお知らせします

かんしゃくやパニックに  
は、淡々としながらも  
譲らない  
原因として多く見られま  
す。

また、状況がうまく読  
み取れないことで、納得  
できずに起こることもあ  
ります。センターでは、  
その理由を整理し、その  
子どもに適した方法を一  
緒に考えていきます。



親や兄弟姉妹、祖父母、  
同年齢の子どもに興味  
が弱く、人とのかわりを  
築こうとせず必死に避け  
ようとする子どもの相談  
も多くあります。

「好きな物には真っ先  
に寄っていくのに」と  
周りは理解できず、人と  
して大切な側面が育たな  
いのではないかと心配に  
なります。

このような子どもは、  
人とかかわることが苦手  
ですが、決まることがあり  
物や好きな事が何かを知  
ることが大切です。慣れ  
た人がさりげなく様子を  
見ながらかわりを持つ  
たり、1人で遊ぶことも  
あります。

楽しいけど、人とやり取  
りするのも楽しいという  
経験を少しずつ増やして  
いくことが必要です。

集団の場では、まず理  
解してくれる先生や仲の  
良い友達との関係を良好  
に持つことから始めま  
す。「みんなと仲良くし  
てほしい」と望みたくな  
りますが、まずは1人か  
ら始めることで大丈夫な  
のです。



## 人との関係を築いていくこと